

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	京セラ株式会社					
代表者名	氏名	谷本 秀夫	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	京都府京都市伏見区竹田鳥羽殿町6					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業				
主たる事業の概要	サーマルヘッド、機械工具・単結晶サファイアガラス、コネクタ製造等 (長野岡谷工場)					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	8,440	8,301	7,270	9,193	6,964
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	15,523	15,268	13,335	16,913	12,798
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	19		15	16	14
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	20				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020 年度～	2022 年度
------	----------	---------

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	京セラ株式会社 長野岡谷工場 環境安全課 閲覧可能時間 10:00～12:00、13:00～17:00
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	連絡先:0266-27-2145
<input type="checkbox"/>	その他	

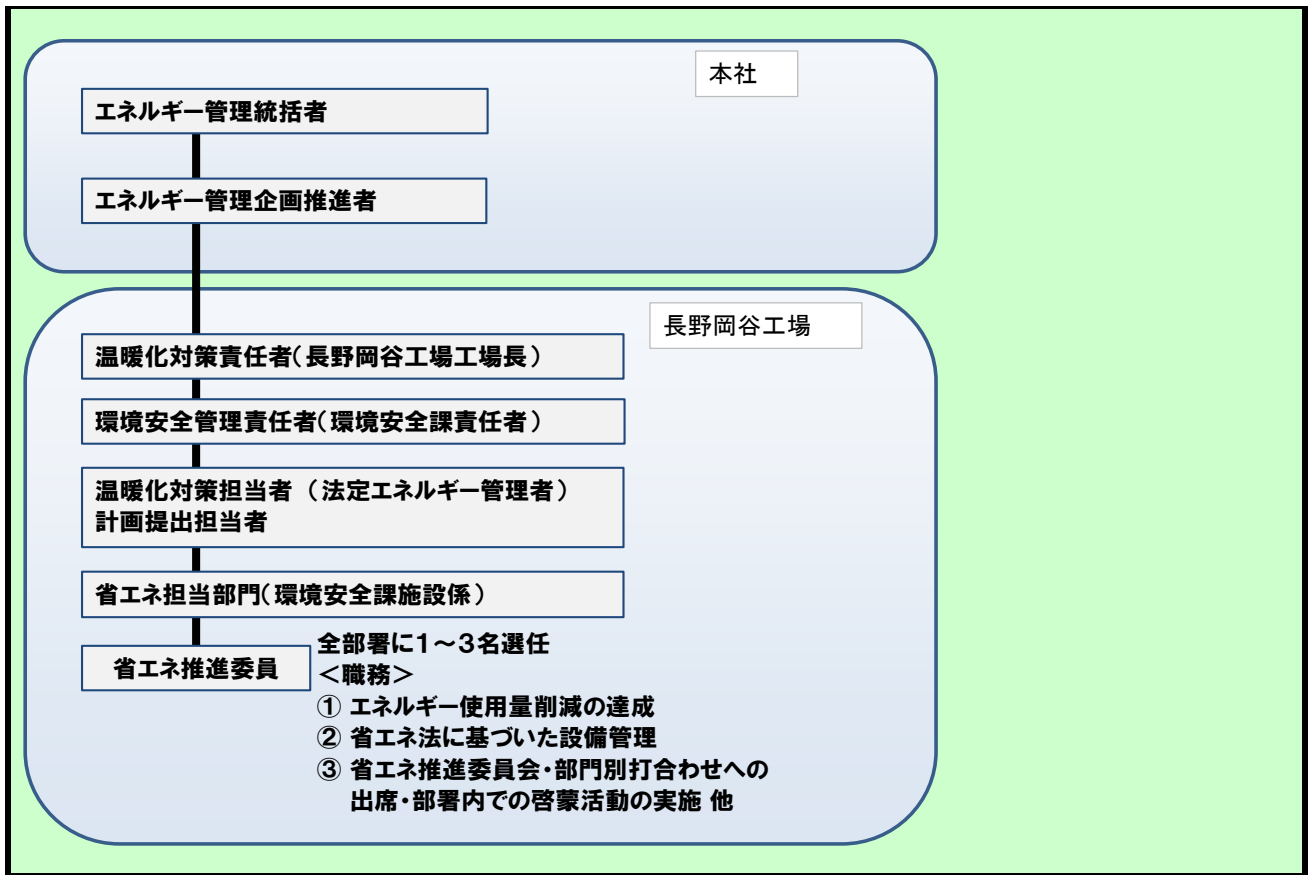
様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

エネルギー起源CO2の排出量削減に向けて以下の省エネ対策に取り組んでいく

- ・高効率な生産設備の導入や生産効率改善
- ・ポンプ、ファンの更新やINVの導入、設定の見直し
- ・熱源・空調設備の更新や運用の見直し
- ・エアコン、チラーの高効率機器への更新
- ・自社製LED照明の導入

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

省エネ推進委員会 (2か月に1回開催)

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	15,523	t-CO ₂	生産金額	1,928.29	単位	千万円
2019年度	調整後排出量	15,523	t-CO ₂	基準原単位	8.05	t-CO ₂ /	千万円
目標年度	目標排出量	15,268	t-CO ₂	目標原単位	7.57	t-CO ₂ /	千万円
2022年度	目標削減率	1.64	%	目標削減率	6.00	%	
目標設定に関する説明	基準年に対して2022年度に原単位6%削減（年平均原単位約2%削減）を目標としています。						
第一年度	排出量	13,335	t-CO ₂	生産金額	1,854.53	単位	千万円
	削減率	14.09	%	原単位	7.19	t-CO ₂ /	千万円
2020年度	調整後排出量	13,335	t-CO ₂	原単位削減率	10.68	%	
	削減率	14.09	%				
排出量等の増減理由	排出量は生産の減少に伴い減少しました。 排出量原単位は、省エネ対策の実施や他事業所からの生産移管等による事業変化により改善しています。						
第二年度	排出量	16,913	t-CO ₂	生産金額	3,276.14	単位	千万円
	削減率	-8.96	%	原単位	5.16	t-CO ₂ /	千万円
2021年度	調整後排出量	16,913	t-CO ₂	原単位削減率	35.90	%	
	削減率	-8.96	%				
排出量等の増減理由	排出量は生産の増加に伴い増加しました。 排出量原単位は、省エネ対策の実施により改善しています。						
第三年度	排出量	12,798	t-CO ₂	生産金額	3,065.99	単位	千万円
	削減率	17.55	t-CO ₂	原単位	4.17	t-CO ₂ /	千万円
2022年度	調整後排出量	12,798	t-CO ₂	原単位削減率	48.19	%	
	削減率	17.55	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	排出量は生産の減少に伴い減少しました。 排出量原単位は、省エネ対策の実施、及び原単位の高い工程の生産の減少の影響により改善しています。						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	20	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	370799	電動力応用設備、電気加熱設備 等に係る削減対策	2020～ 2022	349	2020～ 2021	896
2	エネ起	320204	加熱等設備の効率管理	2020～ 2022	91	2020～ 2021	54
3	エネ起	320210	加熱等を行う設備の保全管理	2020～ 2022	71	2020～ 2021	148
4	エネ起	360799	コンプレッサー等に係る その他の削減対策	2020～ 2022	46	2020～ 2021	58
5	エネ起	330299	空気調和設備等に係る その他の削減対策	2020～ 2022	63	2020～ 2021	75
6	エネ起	380752	LED照明の導入	2020～ 2022	36	2020～ 2021	37
7	エネ起	330201	空気調和の管理	2020～ 2022	17	2020～ 2021	17
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電設備（自家用）	kW	50	14	64	64	64
太陽光発電設備（売電用）	kW	120	100	210	210	210

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	15,518	1	13,330	1	16,908	1	12,793
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	1	5	1	5	1	5	1	5
合計	2	15,523	2	13,335	2	16,913	2	12,798

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	
CH ₄	0	0	0	
N ₂ O	0	0	0	
HFC	0	0	0	
PFC	0	0	0	
SF ₆	0	0	0	
NF ₃	0	0	0	
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	10	7	7	9
合計	10	7	7	9
自動車総数	19	15	16	14
次世代車導入割合	52.6	46.7	43.8	64.3

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	業務上外出・出張については公共交通機関の利用を優先している
自転車の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	貨物集約による輸送の効率化

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	名称	ISO14001	1996
<input checked="" type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		2020
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		2019
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	グリーンカーテン、環境出前授業を実施している		2007

1.5 自由記載欄

<p>【グリーンカーテン】 2007年から、毎年、工場正面壁面に全長90mのグリーンカーテンを育成しています。(冷房負荷削減)</p> <p>【京セラ森づくり活動】 2011年から、毎年、京セラ森林づくり(森林整備)活動を行っています。 活動場所は岡谷市湊財産区で、主に間伐、除伐、植栽を行っています。</p> <p>【環境出前授業】 2007年から、社員が講師として小学校を訪問し、太陽電池を題材に子供たちと一緒に地球温暖化防止と環境保護について学ぶ活動として取り組んでいます。2019年度迄に累計201回の授業を実施。</p> <p>【環境活動】 廃棄物排出量削減、水使用量削減に取り組んでいます。</p> <p>【環境啓発】 毎年6月は環境月間として、従業員に対しての朝礼での環境教育の発表など環境活動に関する啓発を行っています。</p> <p>【受賞】 2018年に環境省の「地球温暖化防止活動環境大臣表彰(対策活動実践・普及部門)」受賞しました。 2022年に長野県の「事業活動温暖化対策計画制度優良事業者(第2次計画期間)」受賞しました。</p> <p>【地域貢献活動】 2021年から岡谷市ゼロカーボン事業「岡谷市エコドライブ推進事業所」に登録し、この事業の取り組み「ノーマイカー通勤の推奨」と「エコドライブ10のすすめの実践」を活動しています。</p>
